

事業概要

応募No.	1		
事業主体	北海道	事業箇所	北海道白老郡白老町東町地内
応募者名	北海道 胆振総合振興局 室蘭建設管理部		
ふりがな 事業名称	とまこまいけんとしけいかくどうろ 3・4・109ごう えきまえどおりせいびじぎょう 苫小牧圏都市計画道路 3・4・109号 駅前通整備事業		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、平成30年に事業認可を取得し令和3年に完成したJR室蘭本線白老駅の駅前広場整備事業であり、国が整備する民族共生象徴空間(ウポポイ)の一般公開(令和2年度)により、国内外から多くの観光客が訪れ、白老駅利用者の増加が見込まれる中、整備前の当該駅前広場は狭小で、広場内において路線バスの乗降ができなく、バリアフリー化もされていない状況となっていたため、広場面積を拡張し、バスバースの確保や交通動線の整理をすると共にバリアフリーに配慮した施設整備をすることにより交通結節点としての機能強化を図るものである。</p>		
事業規模	事業面積(m ²)	約2,700m ²	
	幅員(m)		
	事業期間(和暦)	平成30年～令和3年	
	事業費(億円)	約5億円	
受賞歴	有・無	有	
URL			

事業位置図



白老駅周辺整備

・駅前通整備事業（北海道）

- ・白老駅公衆トイレ・観光案内ブース整備（白老町）
- ・白老駅バリアフリー設備整備（JR北海道）
- ・自由通路整備（白老町）
- ・ホーム延伸（各上下線 約50m）（JR北海道）

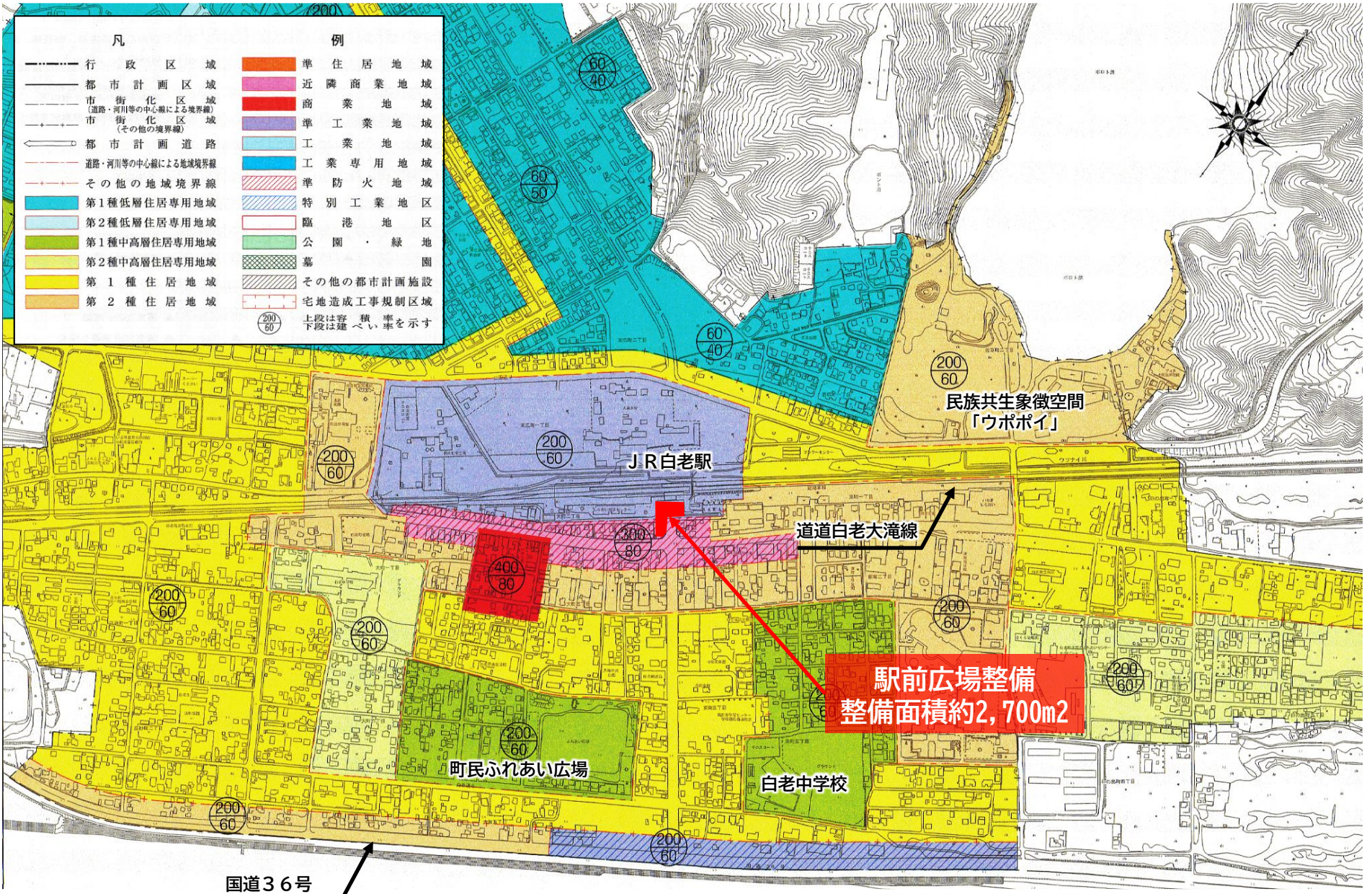
白老駅北観光商業ゾーン

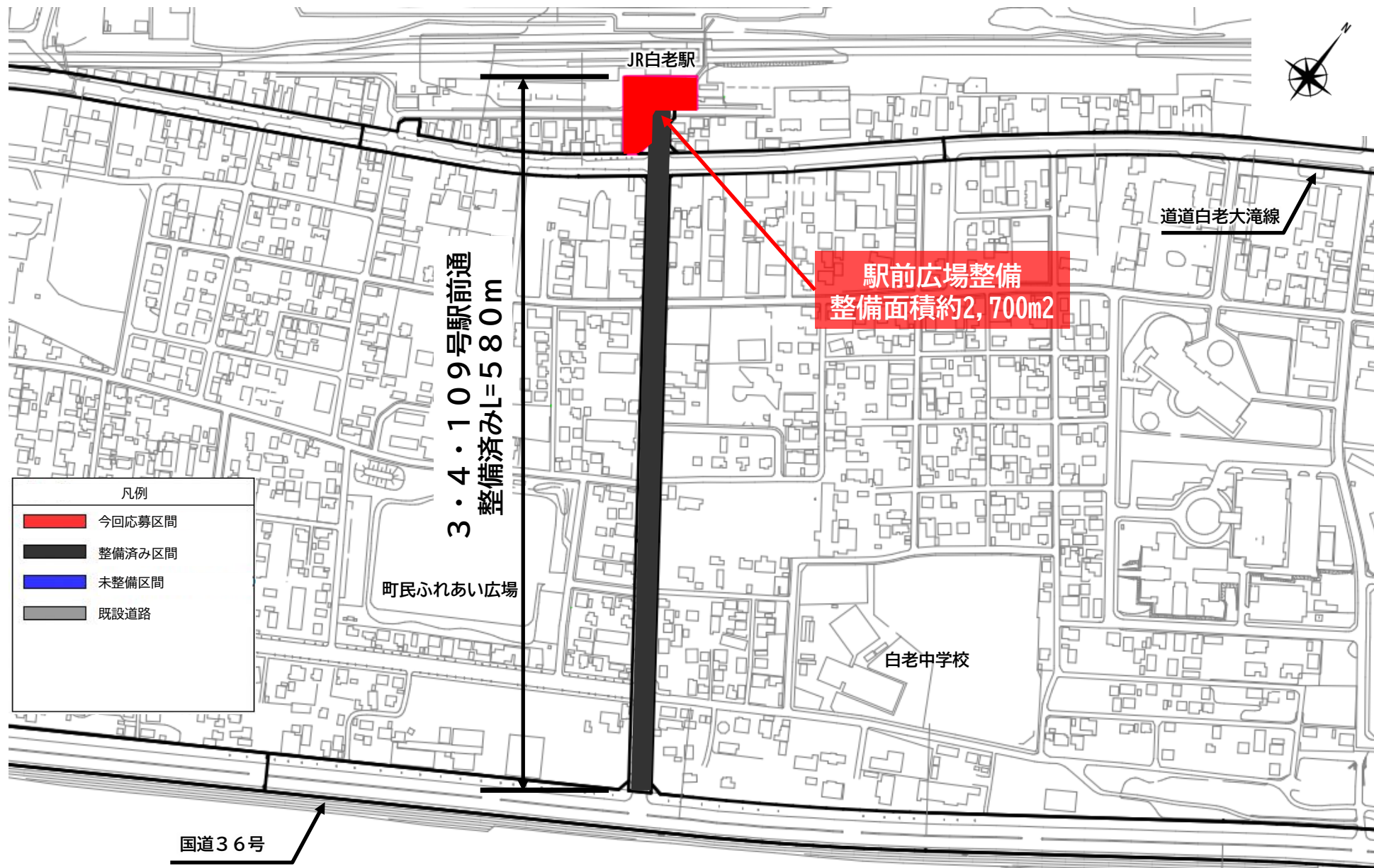
- ・インフォメーション施設（白老町）
- ・交流広場（白老町）
- ・駐車場整備（白老町・北海道）
- ・民間事業者施設

ウポポイ開業に合わせて アクセス改善に向けた取組を一体的に実施



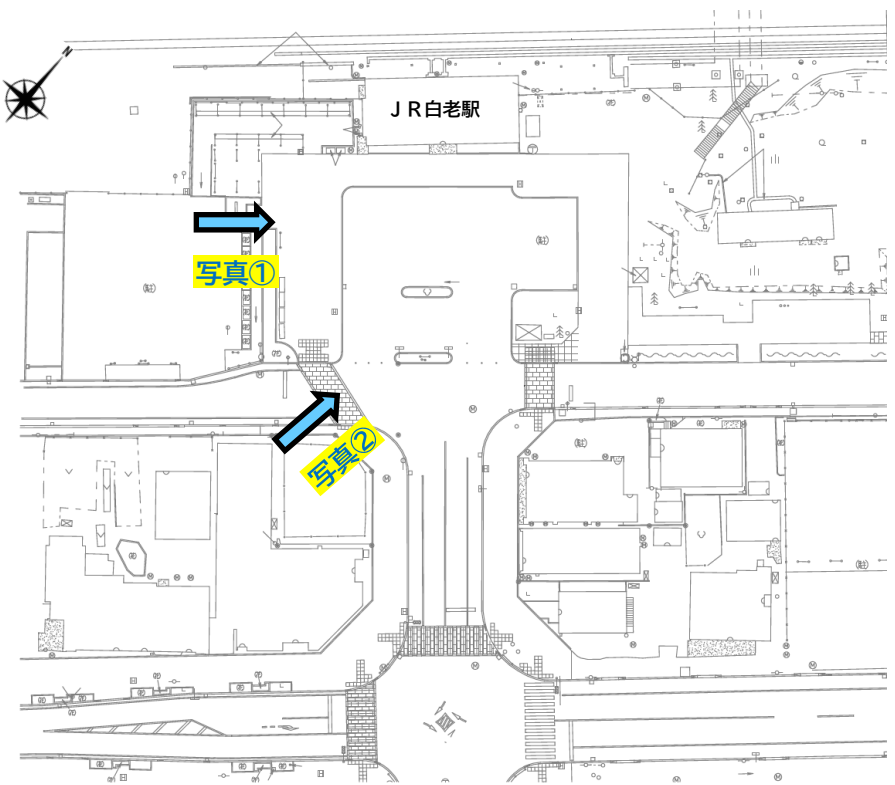
都市計画図(用途地域図)



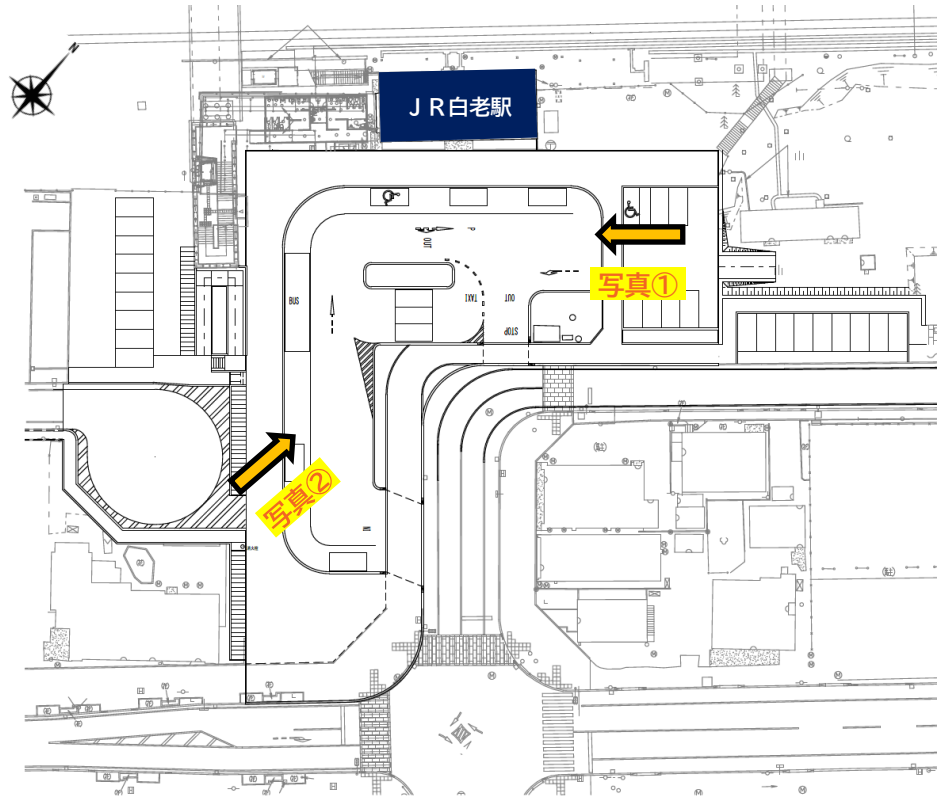


平面図

事業前



事業後



事業前写真



事業後写真

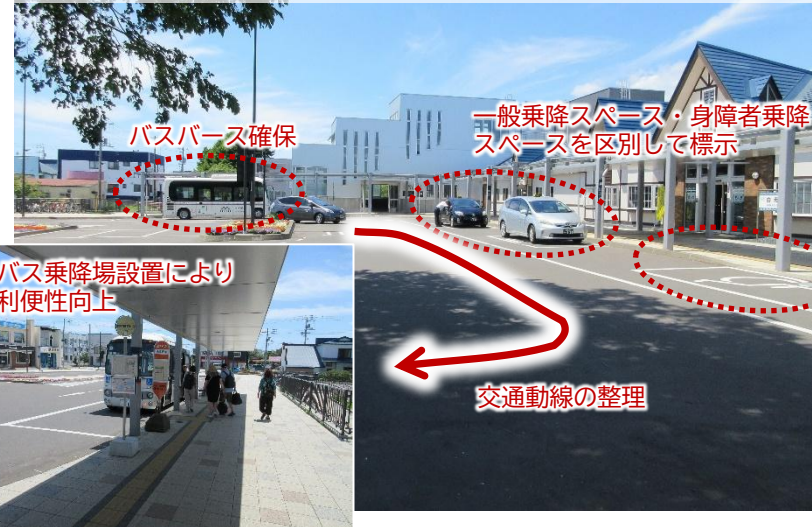
北海道：(都)駅前通



事業効果アピール資料



✓ 広場面積を拡張しバスバース確保・交通動線整理
 → 交通結節機能向上により利便性向上・にぎわい創出



✓ 通過交通を排除 → 事故発生リスクを低減
 ✓ 歩行者動線を確保 → 安心・安全な歩行空間を創出



事業効果アピール資料

国・北海道・白老町・JR北海道等が
ウポポイの開業に合わせて一体的に整備推進



紫色：国 橙色：道 紺色：町 緑色：JR

事業効果アピール資料

- 関係機関が一体となって交通アクセスの改善に取り組んだ結果、目立った渋滞はなく、**鉄道駅を含めてシームレスな交通誘導が可能**となった。
- ウポポイ開業後は周辺地域への**観光客も増加傾向**であり、**地域活性化に寄与**している。

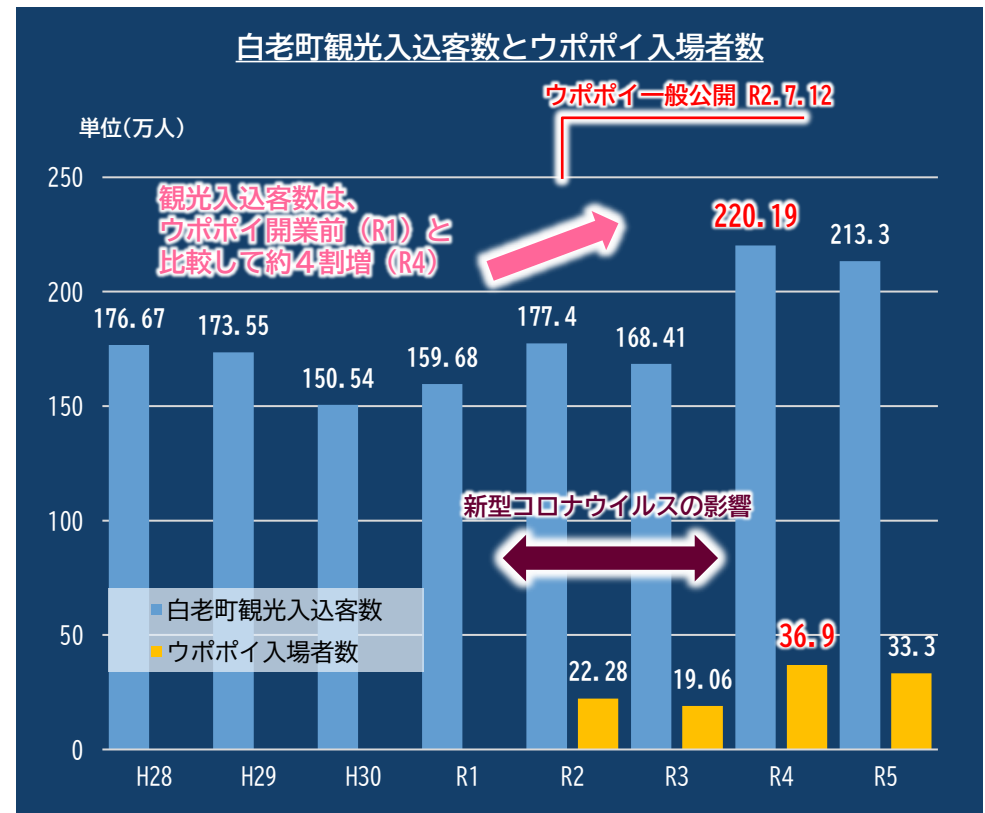
開業日のスムーズな交通状況



白老牛肉まつりの開催状況（駅北観光商業ゾーン）



白老町観光入込客数とウポポイ入場者数



出典：白老町HP白老町観光入込客数調査から引用

苦労や工夫等アピール資料

2020年「民族共生象徴空間」開設に向けた100万人交通アクセス検討会ワーキンググループを設置

国	北海道	白老町
<ul style="list-style-type: none"> 北海道開発局 北海道運輸局 	<ul style="list-style-type: none"> 総合政策部 建設部 胆振総合振興局 	<ul style="list-style-type: none"> 企画課 アイヌ総合政策課
JR北海道	NEXCO東日本	

(H29.6設置)

合計で**13回開催**（作業部会含む）⇒ 関係機関で連携

議論・情報共有した主な内容

- アクセスルートを設定し課題抽出
- ロードマップの作成による進捗管理
- 案内標識の検討（デザイン統一など）
- ウポポイPRの取組
- 交通解析シミュレーション
- ウポポイ駐車場への誘導方策

など

第1回交通アクセス検討会WG開催状況（H29.6）

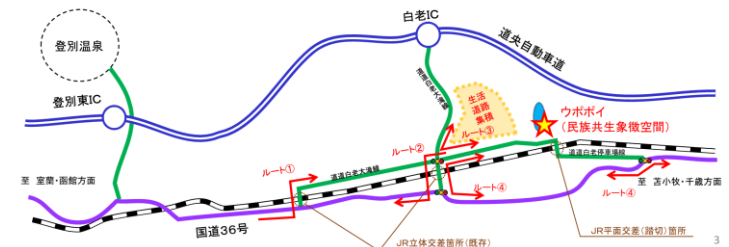


（会議資料抜粋）

■ アクセスルートの設定

周辺道路への影響検討結果により、以下の点に留意し、アクセスルートを設定
 ・シームレスな交通誘導 ⇒ JR平面交差点（踏切）の回避、右折の回避
 ・生活環境への配慮 ⇒ 生活道路の回避

ルートNo.	出発地(方面)	備考
ルート①	室蘭方面・登別温泉等(往路)	JR立体交差通過、右折回避
ルート②	室蘭方面・登別温泉等(復路)	JR立体交差通過、無信号交差点での右折回避
ルート③	道央自動車道経由(往復)	
ルート④	苫小牧・千歳方面<JR立体交差箇所へ誘導>(往復)	JR立体交差通過、踏切回避ルート(踏切部渋滞回避)



受賞歴・報道資料

○令和2年度 全建賞受賞

「異なる部門の事業が連携した取り組みの部（事業連携の部）で多様な機関が連携し景観的な配慮と共に交通計画、さらに公園博物館が一体となったのアイヌの世界観・自然観を学べる象徴空間を創出した点や、令和2年の上半期の観光客数が前年度に比べ4割増加している点が評価されました。

■ 令和2年度全建賞授賞事業

(1) 異なる部門の事業が連携した取り組みの部（事業連携の部）： 4事業

事業の名称	実施機関
<u>ウポポイ（民族共生象徴空間）の整備 ～国立民族共生公園と周辺事業との連携について～</u>	国土交通省北海道開発局札幌開発建設部 国営滝野すずらん丘陵公園事務所 国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部室蘭道路事務所 文化庁 <u>北海道胆振総合振興局</u> 白老町 北海道旅客鉄道株式会社
C M方式の活用と公民連携による女川町震災復興事業の推進	宮城県女川町 独立行政法人都市再生機構岩手・宮城震災復興支援本部
志津川地区における復興市街地整備事業と災害復旧事業等との連携	宮城県南三陸町 独立行政法人都市再生機構岩手・宮城震災復興支援本部
令和2年7月豪雨における国道41号下呂市小坂町門坂地区災害の応急復旧工事	国土交通省中部地方整備局高山国道事務所

HP 令和2年度全建賞のページより

受賞歴・報道資料

- 新聞掲載：令和2年3月14日（土）
北海道新聞「白老駅に特急北斗停車 自由通路も渡り初め」
- 新聞掲載：令和2年3月15日（日）
北海道新聞「きょうから白老駅停車」